ONKYO

* 2 9 4 0 1 5 3 2 *

LS-B40

Soundbar System

取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に安全ガイドや保証書とともに大切に保管してください。

ライセンスと商標について

DOLBY DIGITAL	ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolbyおよびダブル D記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
	AACロゴはドルビーラボラトリーズの商標です。
Bluetooth®	Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG、Inc.が所有する登録商標であり、オンキヨー株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。
AURASPHERE	AuraSphere™は、オンキヨー株式会社の商標です。

AuraSphere™は、オンキヨー株式会社とsonic emotion agが開発したリスニング・エクスペリエンス・テクノロジーです。

D1309-0

箱の中身を確かめる

ご使用の前に製品本体および下記の付属品が入っているかご確認ください。

- ( )内の数字は数量を表しています。
- 製品カタログおよび包装箱などに表示されている型名の最後のアルファベットは、製品の色を表す識別記号です。

製品本体(1)

電源アダプタ(1)/電源コード(1)

IRフラッシャー(1)

リモコン(RC-877S)(1)

ご購入時、リチウム電池(CR2025)はリモコンに装着されています。

オーディオ光デジタルケーブル(1.5m)(1)

φ3.5mmステレオミニケーブル(1)

壁掛けテンプレート(1)

スタンド(2)/スタンドスペーサー(2)/クッション(4)/取付ネジ(30mm)(4)/取付ネジ(10mm)(4)

- **取扱説明書(本書)、安全ガイド、保証書(各1)**

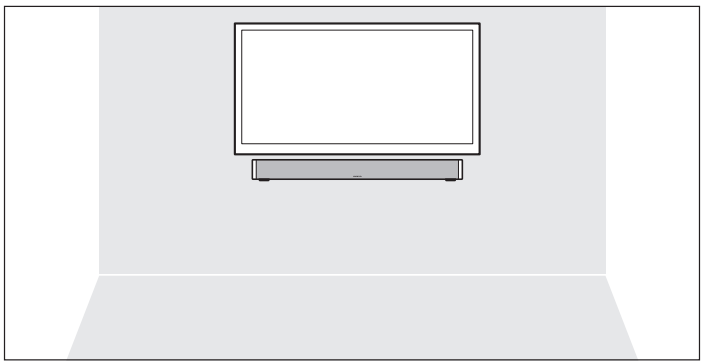
準備

設置する

お使いになる環境に応じて、設置方法をお選びください。

- よりよい音で最適に聞くためには、本機の左右に物を置かないでください。

壁掛け設置



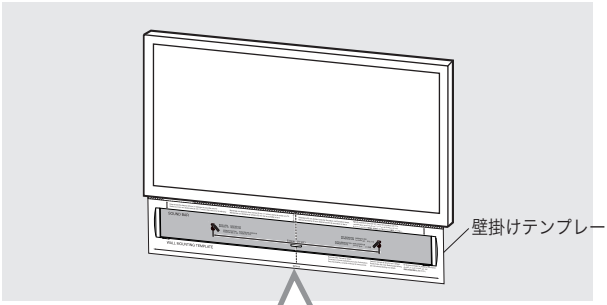
必ず工事専門業者にご依頼ください。

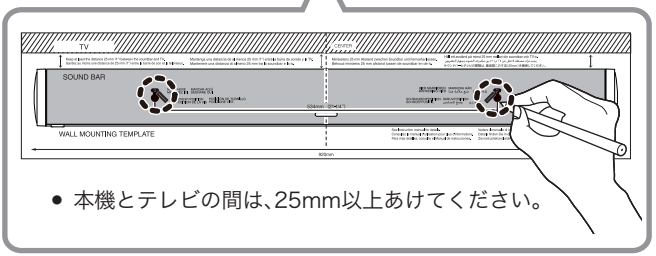
準備する付属品:壁掛けテンプレート

1. 取り付けたい位置に、付属の壁掛けテンプレートを貼る

- 壁面にテープの後が残らないよう注意してください。
- 少し離れて位置を確認します。水平に貼られているかなどを確認してください。

2. ネジの位置（2か所）に印をつける

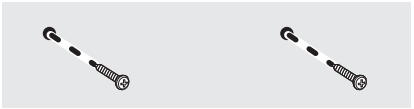


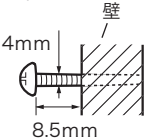


- 本機とテレビの間は、25mm以上あけてください。

3. テンプレートを外して、ネジを壁面に固定する

- ネジの直径は4mmのものをご使用ください。
- 壁面からネジが8.5mm、突き出るようにしてください。
- 付属のスタンド用取付ネジは絶対に使用しないでください。





1. すべてのケーブルを本機に接続する(→7〜8 ページをご覧ください。)

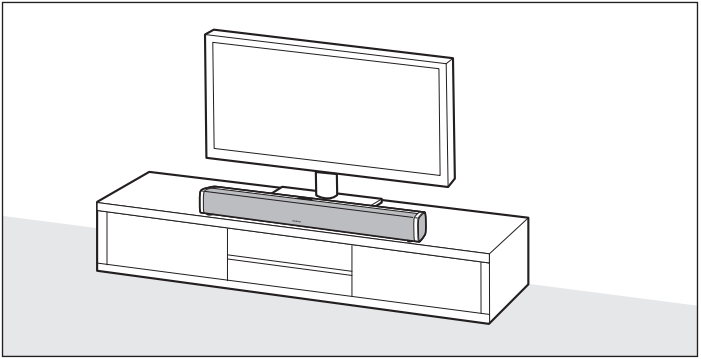
2. 本機のネジ掛け穴にしっかりと掛ける

- ネジの頭がネジ掛け穴の上に入っていることを確認してください。
- 付属のスタンドは使用しないでください。

本機を壁に取り付ける際のご注意

- 壁面に取り付けるネジは、工事専門業者とご相談のうえ、充分な耐荷重が得られる種類や素材、長さなどを検討して用意してください。また、補強が必要な場合は、補強板やアンカーなどを施行ください。
- 取り付けの不備、取り付け強度不足、誤使用、天災などによる事故、損傷につきましては、当社は一切責任を負いません。

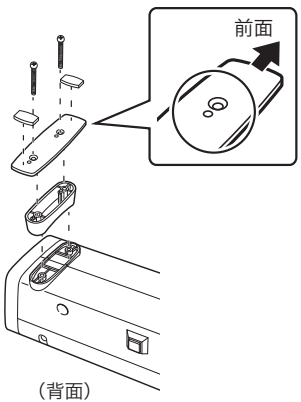
ローボードやテレビ台に設置



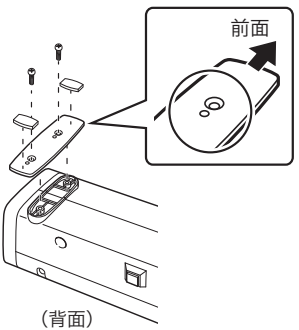
準備する付属品:スタンド、スタンドスペーサー、クッション、取付ネジ

台などの上に設置するときは、転倒防止のために、付属のスタンドを取り付けてから設置してください。

スタンドとスタンドスペーサーを使う

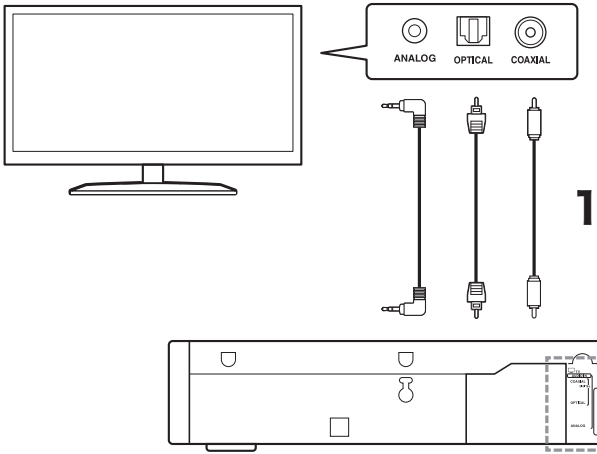


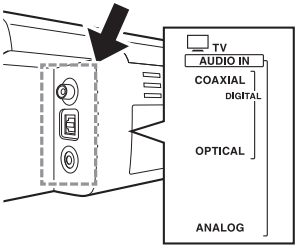
スタンドのみを使う



接続する

- どれか接続ケーブルを1本使って、テレビと本機を接続してください。

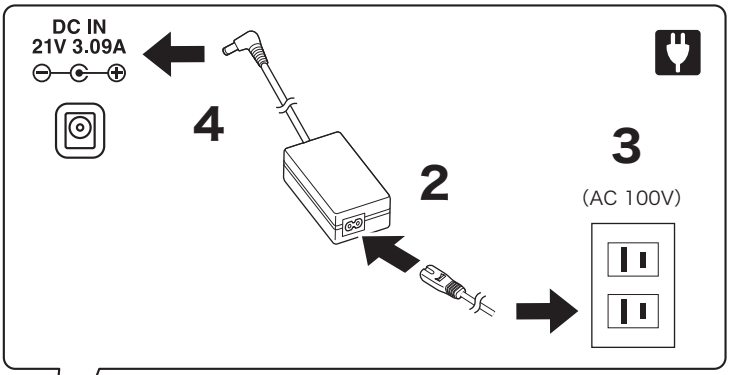


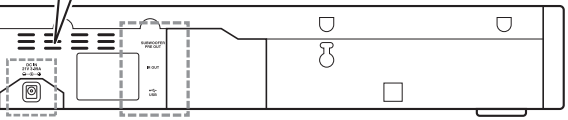


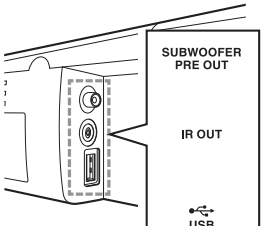
COAXIAL端子
別売りのケーブルを接続して、音声を入力する端子です。

OPTICAL端子
付属のオーディオ光デジタルケーブルを接続して、音声を入力する端子です。

ANALOG端子
付属のステレオミニケーブルを接続して、音声を入力する端子です。



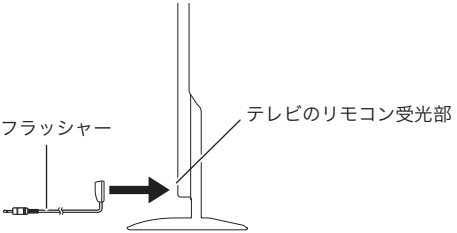




SUBWOOFER(PRE OUT)端子
市販のサブウーファーを接続します。
- 市販のアナログ端子のあるアンプ内蔵サブウーファーをご使用ください。
- サブウーファーをご使用になる場合は、サブウーファーの取扱説明書をご確認の上接続してください。

IR OUT端子
付属のIRフラッシャーを接続して、テレビのリモコン信号をパススルーします。
- 付属のIRフラッシャー側には、取り付け用の両面テープが貼られています。両面テープを使用してテレビのリモコン受光部の近くに取り付けてください。(→P.9)

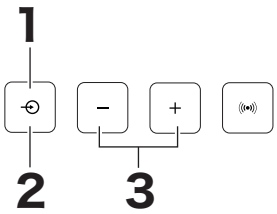
USB端子
USBメモリーを接続します。

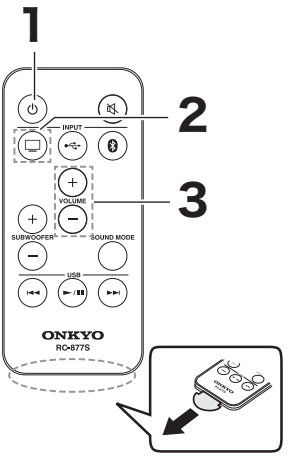


テレビの音声を聞く

テレビの電源をオンにしてください。

- 詳しい操作については、「基本操作」(→P.10)をご覧ください。
- お手持ちのテレビリモコンで操作することもできます。「テレビのリモコンで操作する」(→P.16)をご覧ください。





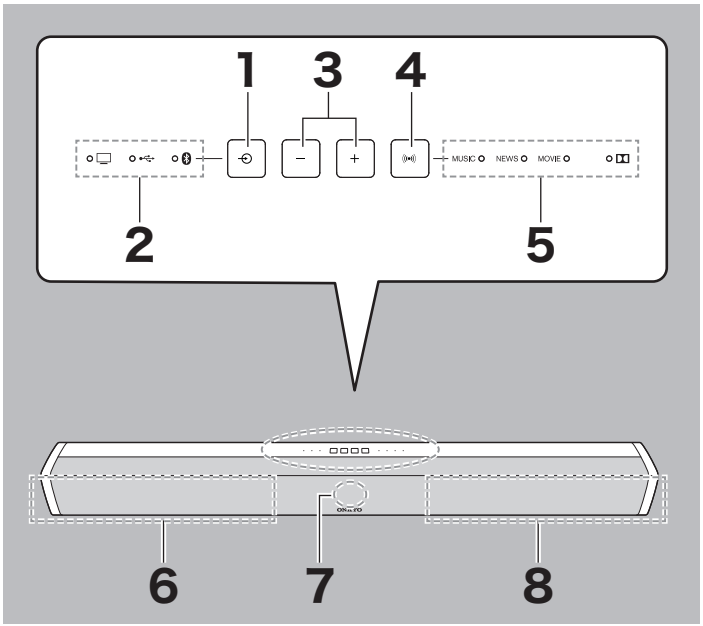
1. 電源を入れる

2. 入力をテレビにする
(本体ボタンでは、押すたびに、
テレビ→ USB→ Bluetooth
の順に切り換わります。)

3. 音量を調整する

基本操作

本体で操作する



1. ⏻ (ON/STANDBY)ボタン／入力切換ボタン

電源のオン／スタンバイを切り換えます。また、入力ソースを切り換えます。

● **電源を入れる:** 1回押す

● **スタンバイ状態にする:** 約3秒間押し続ける。インジケーターが消灯します。

● **入力を切り換える:** 1回押すたびに、テレビ→USB→Bluetoothの順で切り換わります。

- **オートパワーオン機能について:** テレビからの音声信号が出力されると、自動的に電源がオンになります。この機能のオン/オフを切り換えるには、⏻ ボタンを押しながら 📡、＋ ボタンを順に長押し（約3秒間）します。設定されると、🖵 が点滅します。オンになると1回点滅、オフになると2回点滅します。
- **オートスタンバイ機能について:** 無操作で無音の状態が5分間続くと、自動的に電源がスタンバイ状態になります。この機能のオン/オフを切り換えるには、⏻ ボタンを押しながら 📡、－ ボタンを順に長押し（約3秒間）します。設定されると、🖵 が点滅します。オンになると1回点滅、オフになると2回点滅します。

2. 入力ソースインジケーター

- 🖵　入力がテレビのときに点灯します。
- ⇢　入力がUSBのときに点灯します。
- ᛒ　入力がBluetoothのときに点灯します。

3. － ＋ VOLUME －/＋ ボタン

音量を0から30の間で1ステップずつ調整することができます。

- － ＋ ボタンを同時に押すと、ステータスインジケーターが点滅し消音状態になります。解除するには、再度VOLUME-/+ボタンを押してください。

4. 📡 SOUND MODEボタン

入力している音声をお好みのサウンドモードに切り換えることができます。押すたびに、MUSIC→NEWS→MOVIE→MUSIC→･･･の順で入力が切り換わります。それぞれの入力ソースで設定することができます。

- **MUSIC（ミュージック）モードを選ぶと:** コンサート会場を再現したような効果が得られます。
- **NEWS（ニュース）モードを選ぶと:** ニュース番組などの視聴に適した効果が得られます。
- **MOVIE（ムービー）モードを選ぶと:** 映画に適した迫力のある3Dサウンド効果が得られます。

1. サウンドモードインジケーター

設定しているサウンドモードに応じて点灯します。

- MUSIC　設定がミュージックのときに点灯します。
- NEWS　設定がニュースのときに点灯します。
- MOVIE　設定がムービーのときに点灯します。
- DD　デジタル入力信号がDolby Digitalのときに点灯します。

2. 左チャンネルスピーカー

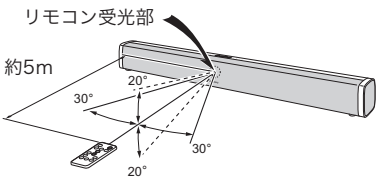
3. ステータスインジケーター

電源がオンの時に白色で点灯します。消音時には、点滅します。音量調整、入力切換、サウンドモードは切り換えるたびに、1回だけ点滅します(リモコン操作時のみ)。スタンバイ時には、消灯します。

4. 右チャンネルスピーカー

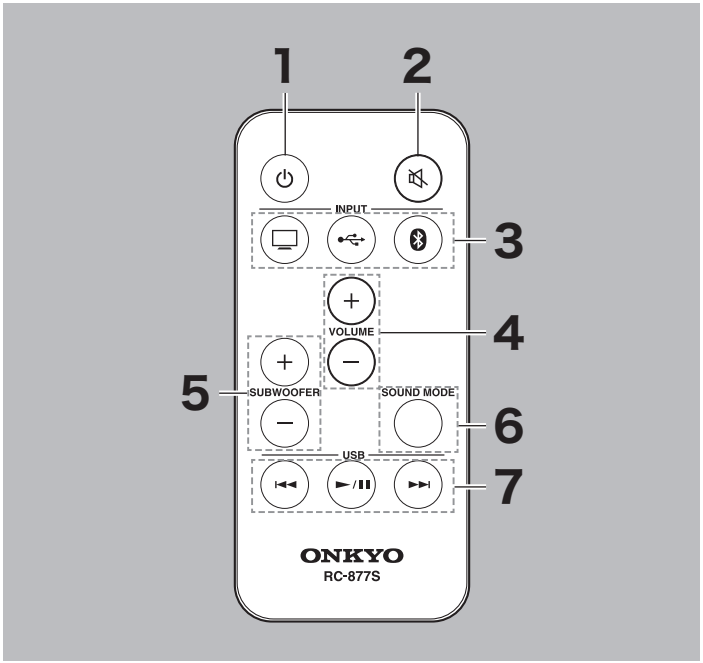
リモコンで操作する

リモコンの使いかた



リモコンの電池を交換する

リチウムコイン電池はCR2025を使用してください。



1. ⏻ (ON/STANDBY)ボタン
電源のオン／スタンバイを切り換えます。

2. 🔇 (消音)ボタン
音を一時的に消すことができます。もう一度押すと、消音が解除されます。

- 消音時には、ステータスインジケーターが点滅します。
- 音量を調整したときや、1度電源を切ってから再度電源を入れたときも解除されます。

1. INPUTボタン
入力ソースを切り換えることができます。
- **テレビの音声を再生:** テレビをオンにして ボタンを押します。
- **USBメモリーの音楽を再生:** USBメモリーを接続して ボタンを押します。
- **Bluetooth対応機器の音声を再生:** ボタンを押します。接続については、15 ページをご覧ください。

2. VOLUME +/− ボタン
音量を0から30の間で1ステップずつ調整することができます。

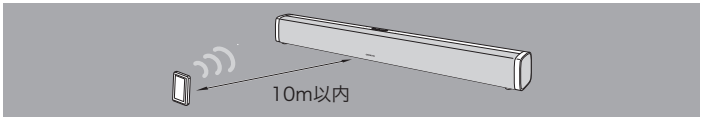
3. SUBWOOFER +/− ボタン
音を聞きながら、サブウーファーのレベルを−10から+10の間で1ステップずつ調整できます。お買い上げ時の設定は「0」です。

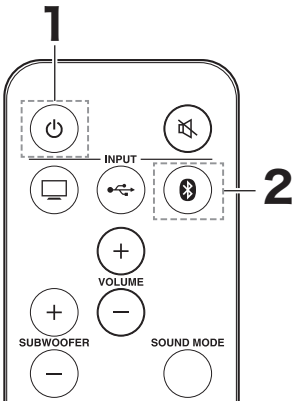
4. SOUND MODEボタン
入力している音声をお好みのサウンドモードに切り換えることができます。押すたびに、MUSIC→NEWS→MOVIE→MUSIC→・・・の順で入力が切り換わります。それぞれの入力ソースで設定することができます。
- **MUSIC(ミュージック)モードを選ぶと:** コンサート会場を再現したような効果が得られます。
- **NEWS(ニュース)モードを選ぶと:** ニュース番組などの視聴に適した効果が得られます。
- **MOVIE(ムービー)モードを選ぶと:** 映画に適した迫力のある3Dサウンド効果が得られます。

● **デュアルモノ(音声多重)対応のソースを切り換える:** 約3秒間長押しします。長押しするたびに、主音声→副音声→主音声+副音声→主音声→・・・の順で切り換わります。

5. USBの操作ボタン
入力ソースがUSBの時に使用できます。
- ボタン:1回押すと聞いているファイルの先頭へ戻ります。連続で2回押すと前のファイルへ戻ります。以降、押すたびに 1 つ前のファイルへ戻ります。
- ボタン:停止中に押すと再生します。再生中に押すと、一時停止します。
- ボタン:押すたびに 1 つ次のファイルに進みます。

Bluetooth接続で再生する





手順3、4は、Bluetooth対応機器で行います。

1. 本機の電源を入れる

2. Ⓑを押す

- Ⓑインジケーターが速く点滅して、ペアリングモードに入ります。
- ペアリングモードは約30秒で解除され、低速点滅になります。その場合は、再びⒷを押してください。

3. Bluetooth対応機器で機器名(Onkyo LS-B40)を選んで接続する

- Bluetooth対応機器の取扱説明書を参照して操作してください。
- 10m以内の距離でも正常に動作しない場合、本機に近づけて操作し直してください。
- パスコード(パスワード、パスキー、PINコード)を要求されたら「0000」を入力してください。
- ペアリングが完了すると、Ⓑインジケーターが点灯します。

4. 再生する

- 本機のBluetoothをリセットしたり、Bluetooth対応機器側で本機の登録を削除した場合、再度ペアリング(上記)を行ってください。
- 他のBluetooth対応機器を接続したい場合、本体の(((•)))ボタンを長押しで、ペアリングモードにしてください。

テレビのリモコンで操作する

● **プリプロ機能について:**本機は、お手持ちのテレビのリモコンを使って、本機を操作できるようにあらかじめ、プログラミングされています。操作できる機能は音量(VOLUME +/−)と消音(🔇)です。その他の機能を使用したい場合や、お手持ちのテレビ用リモコンで操作できない場合は、下記のラーニング機能で操作できるようにすることもできます。

- テレビ側が消音状態で本機が消音状態でないときなど、テレビ用リモコンの消音ボタンを押すたびにテレビと本機が、入れ替わりで消音状態になってしまう場合があります。その場合は、テレビ用リモコンの消音ボタンを長押しすると、テレビと本機の消音状態を同期させることができます。
- プリプロ機能を無効にするには、⏻ を押しながら − を約10秒間押し続けてください。🖵 インジケーターが3回点滅し、すべてのテレビ用リモコンの操作を受け付けなくなります。再度プリプロ機能を有効にする場合も、同じ操作を行ってください。🖵 インジケーターが1回だけ点滅し、再び様々なテレビ用リモコンのボタン操作を受け付けるようになります。

プリプロ機能の抑制について:本機には様々なテレビ用リモコンがプリプロ機能用に登録されています。そのため、お手持ちのリモコン以外のリモコンのボタン操作で、意図しない機能が働いてしまうことがあります。その場合は、⏻ を押しながら − を押し続け、お手持ちのリモコンの音量ボタンまたは消音ボタンを2、3回押すと、プリプロ抑制機能が設定され 🖵 インジケーターが2回点滅し、お手持ちのリモコン以外のボタン操作は受け付けなくなります。

- 一部のテレビ用リモコンでは、この操作ができないことがあります。
- 設定したプリプロ抑制機能を解除するには、⏻ を押しながら − を約10秒間押し続けてください。🖵 インジケーターが1回だけ点滅し、プリプロ抑制機能が解除され、様々なテレビ用リモコンのボタン操作を受け付けるようになります。

● **ラーニング機能について:**テレビ用リモコンのボタンに各機能を割り当てることで、テレビ用リモコンで本機を操作できるようにすることができます。下記のボタンを操作して、🖵 インジケーターが点滅したら、テレビ用リモコンを本機の受光部に向けて、どれか設定したいボタンを3回押してください。正しく設定されると、🖵 インジケーターが2回点滅します。

※長押しするときは、先に (((•))) ボタンを押し始めてください。

ラーニング機能	ボタン操作(3秒間同時に長押し)
ON/STANDBY	(((•))) → ⏻
VOLUME +	(((•))) → +

ラーニング機能	ボタン操作(3秒間同時に長押し)
VOLUME −	[((•))] → [−]
消音	[((•))] → [+] + [−]
INPUT	[((•))] → [⏻] + [+]
SOUND MODE	[((•))] → [⏻] + [−]

- お手持ちのリモコンのボタンに機能を割り当てるときは、テレビなどの動作に影響がないようなボタンを選んで、設定されることをおすすめします。
- 一部機種によっては、リモコンからの信号を本機側で受信できないときがあります。その場合、本機に付属のリモコンをご使用ください。

困ったときは

まず、以下の項目に示した症状をご確認ください。

修理をご依頼される前に:本機が動作しなくなったり、操作できなくなったときは、本機をリセットして、お買い上げ時の状態に戻すことで、トラブルが解消されることがあります。下記の手順で一度リセットしてみてください。

1. 本体の[⏻]ボタンを押しながら、[−] [+]ボタンを長押し(約10秒間)する

リセットが完了すると、入力ソースインジケーター3つが点滅して本機は自動的にスタンバイモードに入ります。

電源に関して

電源が入らない

- 電源コードが家庭用電源コンセントに差し込まれているか確認してください。(→P.8)
- 1度電源コードを抜いて10秒以上待ってから、再び電源コードを差し込んでください。

電源が途中で切れる

- オートスタンバイ機能が働くと、本機は自動的に電源がオフになります。(→P.11)

電源が切れて、回復したあと、すぐにまた電源が切れてしまう

- 本機の保護回路が働いていることがあります。すぐに、電源コードを家庭用電源コンセントから抜いてくださ

- い。すべてのケーブルが接続されているか、入力ソースは正しいかどうかを確認して、1時間電源コードを抜いたままにしてください。そのあと、電源コードを再び差し込んで、本機の電源を入れてください。それでも、電源が切れてしまう場合は、電源コードを抜いて販売店にご相談ください。

煙が出た場合、変なにおいや音がする場合、本機の電源をオフにして、すぐに家庭用電源コンセントから電源コードを抜いて販売店にご相談ください。

音に関して

音が出ない、または音がとても小さい

- オーディオ用ケーブルが正しく接続されているかを確認してください。(→P.7、8)
- 本機と接続している機器が正しく接続されているかを確認してください。(→P.7、8)
- ステータスインジケーターが白色で点滅している場合、消音機能が働いています。リモコンの 🔇 ボタンを押すか、リモコンまたは本体のVOLUMEボタンを押して、消音機能を解除してください。(→P.13)
- 接続しているケーブルが、曲がったり、ねじれていないか、また破損していないかどうかを確認してください。

低域がでない

- 温度上昇が原因でウーファーに保護回路が働いていることがあります。電源コードを家庭用電源コンセントから抜いて、しばらくしてから電源コードを再び差し込んでください。

ノイズが聞こえる

- 電源コードや接続ケーブルなどのオーディオ用ケーブルをバンドルなどで束ねないでください。
- オーディオ用ケーブルは電波などの干渉を受けることがあります。ケーブルの位置を変えてみてください。
- 本機と市販のサブウーファーが正しく接続されているかご確認ください。

リモコンに関して

リモコンが働かない

- 電池の極性(+、−)が、表示どおりに正しく入っているかを確認してください。(→P.12)
- リモコンと本機との距離が離れすぎていないか、リモコン受光部との間に障害物がないかを確認してください。(→P.12)
- 本体のリモコン受光部に強い光(直射日光やインバータ式蛍光灯)が当たっていないか確認してください。
- ご購入後初めてリモコンを使用するときにリモコンが動作しなかったり、長期間使用していないと、電池が不活性化してリモコンが動作しないことがあります。以下の方法を試してください。

1. リモコンの VOLUME (−) ボタンをしばらく(10秒以上)押し続けます。それでも、動作しない場合は、これをくり返します。
2. ボタン電池を1度はずし、乾いた布でボタン電池を拭いたあと、再び入れます。

USBメモリーの再生に関して

USBメモリーのフォーマットは
FAT12、FAT16とFAT32に対応しています。

- 再生可能な音楽フォーマットは「MP3」で、以下のファイルが再生可能です。
  - MPEG-1 Audio LAYER-3でサンプリング周波数32、44.1、48kHz、ビットレート32～320kbpsのファイル
  - MPEG-2 Audio LAYER-3でサンプリング周波数16、22.05、24kHz、ビットレート8～160kbpsのファイル
  - MPEG-2.5 Audio LAYER-3でサンプリング周波数8、11.025、12kHz、ビットレート8～64kbpsのファイル
- ルートフォルダ（PCなどでUSBメモリーを開くと最初に表示されるフォルダ）に置かれた音楽ファイルのみ再生することができます。その他のフォルダに置かれたファイルは再生できません。
- 本機のUSB端子は、USBメモリーにのみ対応しています。ただし、USBメモリーによっては、正常に動作しない場合があります。

本機はマイクロコンピューターにより高度な機能を実現していますが、ごくまれに外部からの雑音やノイズ、また静電気の影響によって誤動作する場合があります。そのようなときは、電源プラグを抜いて約5秒以上待ってからあらためて電源プラグを差してください。それでも正常な動作に復帰しないときは、リセット(→P.17)を行ってください。

製品の故障により正常に録音できなかったことによって生じた損害（CDレンタル料等）については保証対象になりません。大切な録音をするときには、あらかじめ正しく録音できることを確認の上、録音を行ってください。

ONKYO

オンキヨー株式会社
〒541-0041　大阪市中央区北浜２丁目２番22号 北浜中央ビル

製品のご使用方法についてのお問い合わせ先：
オンキヨーオーディオコールセンター
☎ 050-3161-9555（受付時間　10：00～18：00）
（土･日･祝日･弊社の定める休業日を除きます）
サービスとサポートのご案内：
http://www.jp.onkyo.com/support/

SN29401532
(C) Copyright 2013 Onkyo Corporation Japan. All rights reserved.